

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】国際理解・異文化理解を育む授業づくりを目指して	講習形態	講義・演習
開設者	活水女子大学	定員	60人
開設日/時間	令和3年8月10日(火) / 8:55~16:30	会場	活水女子大学 東山手キャンパス 433教室(長崎市)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校、中学校、高等学校 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員:吉牟田 聡美(国際文化学部) / sami@kwassui.ac.jp / TEL:095-822-4107			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 国際理解教育・異文化理解教育を行う上で必要な背景的な理論について知識を深めると同時に実際に理論を踏まえて受講者の担当する授業の内外で国際理解・異文化理解の問題を採り入れられるようになることを目指します。 講習方法: 講義とワークショップ形式の演習です。講義中および演習中に適宜受講者同士のディスカッションを行います。 講習到達目標: 1. 国際理解・異文化理解の定義および最近の教育動向について理解します。 2. 自らの国際理解・異文化理解の実践について振り返ります。 3. 国際理解・異文化理解をテーマにした創造的な授業案の可能性について理解を深めます。 4. 国際理解・異文化理解をテーマにした授業案を作成します。 参加者が国際理解・異文化理解について新たな認識を培い、2学期以降の教科もしくは教科横断的なLESSONプランを作成し、授業に還元するスキルを強化します。			
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要): 文科省主導のもと、初等教育段階から異文化理解教育が、高等教育においてはグローバル人材育成のための取組みがなされる昨今、望まれる資質をどう伸ばすのでしょうか。本講習は、国際理解・異文化理解の定義を考察し、協同学習の理念およびアクティビティを紹介します。その理念を授業にどう活かすか検討し、LESSONプランを作成・プレゼンしていただきます。主体的・対話的で深い学びの視点から受講者参加型で行います。 講習計画・内容:			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~ 9:00(5分)	吉牟田 聡美
	講義①(休憩を10分含む) 国際理解とは異文化理解とは	9:00~10:30	吉牟田 聡美
	講義②(休憩を10分含む) 参加型アクティビティ	10:30~11:50	吉牟田 聡美
	筆記試験①	11:50~12:20	吉牟田 聡美
	昼休憩	12:20~13:10	
	ワークショップ②(休憩を10分含む) 教材作成・検討	13:10~15:00	吉牟田 聡美
	ワークショップ③(休憩を10分含む) デモレッスンと振り返り	15:00~16:00	吉牟田 聡美
	筆記試験②	16:00~16:30	吉牟田 聡美
キーワード: (異文化理解教育) (国際理解教育) (多様性)			
成績評価の方法	成績評価は、試験の成績や講習中の課題取り組みから総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	プリント資料を配付します。		
各自で準備するもの	異文化理解教育もしくは国際理解教育に関するテーマで、教材化してみたいピック、問題点が描かれた本、記事、動画、ウェブサイトその他をご持参ください。録画機能の付いた携帯電話もしくはデジタルカメラ等およびイヤホンもご持参ください。		
受講上の注意	1.「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2.視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3.遅刻は原則として認めません。		